施策（２）　防災活動における男女共同参画の推進

《現状と課題》

　被災時の避難運営において、物資の提供やプライバシーの保護等、女性や子育て世帯のニーズに対する配慮が不足している事例が見受けられます。

　これからの災害時の対応については、男女共同参画の視点を踏まえ、性の多様性に配慮した避難所の環境整備等の、きめ細かい取組を進めるとともに、防災会議における女性委員の積極的な登用を進める等、女性の参画を促進することが必要です。

《方向性》

　防災における男女共同参画を推進するため、固定的性別役割分担意識を見直すとともに、方針決定過程への女性の参画の促進及び女性リーダーの育成等、男女共同参画の視点を積極的に取り入れます。

　また、被災時には、性の多様性に配慮した取組を推進するとともに、避難者の声に耳を傾けながら災害対策の改善を図ります。

《具体的取組》

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 具体的取組 | 内容 | 担当課 |
| 1 防災会議における女性参画の推進 | 防災会議における女性委員の積極的な登用を進め、女性の意見を導入できる環境整備を図ります。 | 総務課 |
| 2 防災活動における女性参画の推進 | 防災の現場への女性の積極的な登用を促進するため、消防団員の加入や防災士の資格取得などにおいて、女性の参画を推進します。 | 総務課 |
| 3 避難所運営におけるニーズの把握 | 性の多様性や子育て世帯等に配慮した避難所運営のためのニーズ把握と連絡調整に努めます。 | 市民活動推進課  社会福祉課 |